

工作機械工業 収益状況集計

(2022年度 第3四半期)

会員企業のうち2023年2月末迄に2022年度第3四半期決算を公表している専業比率30%以上の上場企業15社を集計。調査対象企業における専業比率は85.7%。なお、今期は前年度と同社の15社で集計した。

1. 連結決算の概要

表1 連結決算の概要 (15社)

(単位：百万円・%)

	22年度	22年度	22年度	22年度	前年同期比	21年度
	I期	II期	III期	I～III期		I～III期
売上高	186,091	224,350	225,737	636,178	+26.7	502,188
売上総利益	56,125	67,398	69,726	193,249	+32.9	145,457
売上総利益率	30.2	30.0	30.9	30.4		29.0
営業利益	13,051	19,023	21,518	53,592	+66.0	32,292
営業利益率	7.0	8.5	9.5	8.4		6.4
経常利益	18,065	21,449	21,426	60,940	+64.1	37,128
経常利益率	9.7	9.6	9.5	9.6		7.4
当期利益	13,156	15,049	15,596	43,801	+67.3	26,186
当期利益率	7.1	6.7	6.9	6.9		5.2
総資産	1,175,963	1,219,465	1,225,897	1,225,897	+12.9	1,085,905
純資産	706,986	734,026	737,240	737,240	+13.1	652,081
自己資本比率	60.1	60.2	60.1	60.1		60.0
自己資本 当期純利益率 (ROE)	7.4	8.2	8.5	7.9		5.4

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧 (連結・I～III期計・前年同期比) (15社)

(単位:社)

	増 加	減 少	合 計
売上高	12	3	15
売上総利益	12 (0)	3 (0)	15 (0)
営業利益	8 (0)	7 (1)	15 (1)
経常利益	9 (0)	6 (1)	15 (1)
当期利益	9 (0)	6 (1)	15 (1)

※()内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

2. 2022年度通期見通しの概要

表3 【第3四半期時点】連結業績予想の概要（15社）

（単位：百万円・％）

	2022年度通期見通し			2021年度実績
	第2四半期時点	第3四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	863,924	855,624	+18.0	724,881
営業利益	75,498	73,048	+37.7	53,065
営業利益率	8.7	8.5		7.3
経常利益	81,111	80,111	+32.8	60,321
経常利益率	9.4	9.4		8.3
当期利益	59,258	57,963	+29.4	44,785
当期利益率	6.9	6.8		6.2

表4 【第3四半期時点】連結業績予想の増減（売上高、経常利益）（15社）

通期 (対前年度比)	増収増益	12社 (増減なし)	増収減益	2社 (増減なし)
		減収増益	0社 (増減なし)	減収減益

※（ ）内は、第2四半期時点からの増減社数

◎第2四半期時点からの修正理由

【経常利益のみ下方修正 …1社】

○原材料等の価格高騰の影響を受け、各種利益が当初の予想を下回る見通しとなった。

【売上高、経常利益とも下方修正 …2社】

○売上高は、工作機械関連事業において国内外の展示会に積極的に出展するなど拡販に努めたが、受注および売上が想定より落ち込み、連結売上高が減少する見込み。利益は、工作機械関連事業における売上高が想定を大きく下回ったこと、部品加工関連事業における四輪関係の客先の生産回復の遅れ等の要因により、各種利益がいずれも前回の予想を下回る見込みとなった。

○売上高は中華圏において設備投資意欲の低下等を背景に受注が低調に推移しており、前回予想を下回る見通し。利益面においても、営業利益は、給与改定等の人的資本への積極投資を進めるなかで、部品価格や物流費の高騰によるコスト上昇が継続するものと見込む。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、円安進行による為替差益の影響を考慮し修正。

3. 工作機械事業セグメントの概要

表5 工作機械事業セグメントの概要 (15社)

(単位:百万円・%)

	22年度		21年度 I～III期
	I～III期	前年同期比	
売上高	545,322	+31.0	416,367
営業利益	49,224	+81.6	27,104
営業利益率	9.0		6.5
専業比率	85.7		82.9

表6 【参考】工作機械事業セグメントの概要 (25社)

(単位:百万円・%)

	22年度		21年度 I～III期
	I～III期	前年同期比	
売上高	727,097	+24.9	582,130
営業利益	65,542	+60.3	40,898
営業利益率	9.0		7.0
専業比率	33.5		31.7

※表5の対象企業15社に加え、セグメント情報を公表している
専業比率30%以下の会員企業10社を加えた25社で集計

【調査対象会員企業 (順不同)】

(専業比率30%以上の集計対象企業)

エンシュウ株式会社
 浜井産業株式会社
 豊和工業株式会社
 小池酸素工業株式会社
 株式会社牧野フライス製作所
 株式会社岡本工作機械製作所
 ニデックオーケーケー株式会社
 オークマ株式会社
 西部電機株式会社
 株式会社ソディック
 スター精密株式会社
 株式会社太陽工機
 高松機械工業株式会社
 株式会社TAKI SAWA
 株式会社和井田製作所

(専業比率30%以下の集計対象企業)

シチズンマシナリー株式会社 (シチズン時計株式会社)
 株式会社FUJI
 株式会社不二越
 倉敷機械株式会社 (倉敷紡績株式会社)
 黒田精工株式会社
 ミロク機械株式会社 (株式会社ミロク)
 株式会社三井ハイテック
 株式会社オーエム製作所 (ダイワボウホールディングス)
 株式会社桜井製作所
 芝浦機械株式会社